山行報告書

山行管理部

サロン　淀の河津桜と石清水八幡宮　３月２日（土）

CL 阪上　SL 上坂　参加者 16 名

淀駅 10：15――10：30 淀水路河津桜 11：20――11：30 宇治川川原 12：05――12：10 桜出会い館（昼食）13：00――13：13 飛行神社 13：25――13：55 石清水八幡宮 14：20――14：50 京阪電車石清水八幡宮駅。

「淀」の駅で、なんとお花見だと言うのに、バッチリ防寒に備えたスタイルで、いつもの元気な面々が集合しました。

淀水路の河津桜は、超早咲きで有名で、冬真っ只中の２月から最長１ヶ月間「桜のお花見」が楽しめるそうです。

桜のトンネルに続いて宇治川を散策し、（木津川、宇治川、桂川）の三川合流地点に建つ「さくら出会い館」の展望塔からは、まるで地図をみているかのような京都が一望でき、『三川が合流して淀川になる地点に立っているんだー！』と感動させられます。

そして、次は強力なパワースポットである国宝の「石清水八幡宮」へ。

皆さんは、どんなパワーをもらったのかな？

いつも有意義な楽しい山行計画をしてくださるＳさんに感謝です。

これからも、いろんなところを楽しみにしています。よろしくー！

（上坂　記）

土曜山行　六甲山系芦屋川～有馬温泉　３月９日

CL 松山　ＳＬ楠本　新熊　参加者１６名

阪急芦屋川 8:05 出発 ～ 高座の滝 8:39 ～ ロックガーデン経由風吹岩 9:42～
雨ケ峠 10:39 ～ 一軒茶屋 12:01 ～ 六甲峠 12:21 ～ 虫地獄登山口 13:45(解散)

小雪が降り風が舞う中出発芦屋の高級住宅地を尻目に高座の滝から登り有馬温泉まで歩いてきた。
アイゼンいるほどでもなかった。
ここら辺のコースは目をつむっていても歩けるコースであるので詳細は書く必要もないであろう。
下山後
金の湯は 20～30 待ちであったので日帰り温泉メーブル有馬に行った源泉ではなかったが風呂場も広く人も少なくのんびりすごせ良かった若干１名遅刻し途中駆け抜けるように走り去っていった男がいてた。
これなら個人山行で行けばよかろうと思いながら見送った
また有馬温泉到着誰一人ここまで来て温泉入るものがいなかったのも想定外であった。　（松山 記）

ターブル　愛宕山　３月 17 日　CL 井上　SL 出口　参加１８名

8:31 阪急嵐山駅バス乗車→8:46 清滝バス停　体操、行程説明、準備 9:00→9:50 月輪寺登り口→10:55 月輪寺→12:05 愛宕山･愛宕神社　昼食 12:40→13:10 水尾分かれ→14:45 清滝バス乗車 14:50→15：10 阪急嵐山駅着。解散。

午後の天気は 15 時頃より雨予報。私自身この１ヶ月の間、山行予定が２度雨天で中止となっていることもあり下山までもってくれと願いつつ清滝へ。２班に分かれ月輪寺登山口まで右手眼下に清滝川のせせらぎを聞きながら林道を進む。５０分程で登山口へ。登山口から月輪寺までは登りが続く。途中、一般コースと若者コースの別れ道。健脚自慢のきたろうメンバーは、当然に若者コースを選択？？　登りが緩やかになり月輪寺に。月輪寺は、４月下旬頃からシャクナゲ・時雨桜が見頃になるとのこと。この日は鹿と出会えるも予報より早く雨がパラパラと、晴天時は絶景ポイントであるが、残念。

愛宕神社で参拝と昼食を済ませた頃より雨も強くなり、新人の方も参加されている事もあり、つつじ尾根～保津峡駅ルートから安全な表参道ルートへ変更し、清滝バス停へ向かう。下山途中、足を痛める方もありペースダウンとなったが、予定の１時間に１本のバスに乗車することが出来た。後半は降雨でルート変更となったが、山頂での愛宕参りも出来た。雨予報に拘わらず参加いただいた皆さま、お疲れさまでした。

愛宕神社では、例年7月31日夕刻から8月1日に掛けて千日参りが行われ、参拝すると千日分の火伏･防火のご利益があると言われています。呑み屋で「火迺要慎」のお札を見かけたりします。（出口　記）

有志山行　探鳥会　水上池・平城宮跡　奈良県　３月１６日(土)晴れ

CL 井、SL 目加田、参加者９名

近鉄大和西大寺駅～佐紀池～水上池～コナベ池～ウワナベ池～平城宮跡遺構資料館～大極殿付近～佐伯門跡付近出口(解散)

無風、気温 20℃越えの探鳥日和の中、奈良県景観資産の水上池と佐紀盾列古墳群や平城宮跡を巡る佐紀路・西の京探鳥ウォークを楽しみました。

近鉄大和西大寺駅から奈良文化財研究所前を過ぎた、平城宮跡横では「ちょっと来い」と鳴くコジュケイの声が聞かれました。まもなくの佐紀池にはハシビロガモ、マガモ、オカヨシガモ、オオバン、カルガモが見られました。マガモの首の金属光沢の緑色の美しさに「きれい」の声があがっていました。水上池に向かう草地にはムクドリ、多くのツグミやジョウビタキを観察しました。水上池周遊路ではコガモ、マガモ、ダイサギ、アオサギ、カワウを、コナベ池北側ではマガモを観察しました。航空自衛隊奈良基地横を通りウワナベ池傍からは、担当 SL さんが下見時に発見したオシドリ１羽を同じ場所に見ることが出来ました。古墳岸辺の木陰に望遠鏡でどうにか識別出来ました。この池ではオシドリ観察中にミコアイサ（雌）３羽が現てくれました。この後、平城旧跡遺構資料館へ戻り休憩所ベンチで昼食、食事中も樹間にメジロ、地面にはツグミが観察出来ました。長めの休憩時間に資料館へも立ち寄りました。午後は大極殿傍のアシ原のオオジュリンを探鳥しましたが、現れてくれず、上空でヒバリがさえずったのとモズが１羽飛来したのみでした。ツバメのねぐら入り観察場所のアシ原では、野鳥カメラマンがアリスイ待ちをしていましたが、観察時点では見ることが出来ませんでした。直ぐ傍の小さな池ではコガモ、ダイサギを観察しました。

この日、時折上空を見ましたが、残念ながらワシタカは観察出来ませんでした。又、多くのツグミが北帰行へ向け、必死に地面で採餌しエネルギーをたくわえる姿が印象的でした。越冬中のカモ達も下見時より減っていましたが、一定数、北への渡り直前のこの時期に残っていてくれました。

佐伯門跡付近で鳥合わせをし、探鳥ハイクを終えました。科別出現種数　キジ科1、カモ科 8、カイツブリ科 1、ハト科１、ウ科１、サギ科２、クイナ科２、モズ科１、カラス科１、ヒバリ科１、ヒヨドリ科１、ウグイス科１、メジロ科１、ムクドリ科 1、ヒタキ科 2、スズメ科１、セキレイ科１　計 27 種　（井　記）